

申9号 安全を確保し働きがいのある

第2回



人事・賃金制度の実現を求める申し入れ交渉実施!

「本来業務」に対する会社の認識を確認!

組合

前回回答を求めた「本来業務」に対する会社の認識は？本来業務をおろそかにしない制度が前提だ!

会社

鉄道はチームワークで各自が役割をこなすことにより、安全・良質なサービスが可能となる。担当業務をしっかりと行うことは前提で、幅の広い人材を育成することが必要。

【第2項】東日本大震災を教訓に、地元・地域を熟知し経験に裏打ちされた技術力と現場の状況を的確に判断できるフコを育成すること。

【第3項】入社後10年程度を技術継承期間と位置づけ、知識・技術の習得と安全哲学を継承できる各系統のフコを育成すること。

《会社回答》 (第2項) 社員の配置については、今後とも社員個々人の能力・適正などを踏まえ、任用の基準に則り行っていく考えである。

(第3項) 変化の激しい経営環境下にあつて、社員には、これまでも培われてきた技術・技能・知識の継承とともに、常に新たな技術等の習得も求められるものであることから職場におけるOJTはもとより、Off-JTとして実施してきた各種研修等による人材育成・技術継承をさらに深度化させていくこととする。

組合

震災で命を守った原動力は何か？地元精通した職場に長くいるフコが必要だ!

会社

震災時は社員の鉄道魂が発揮された。社員の配置は、能力・適正を踏まえていく。担当業務の遂行で人材育成する。

組合

技術継承に集中するための期間が必要だ！My フコや通教が本来業務をおろそかにしてはならない!!

会社

「任用の基準」だけでは職場のフコはつukれない!

技術継承は各ステージで継続するものであり、期間を定めるべきではない。担当業務をしっかりと行う人材育成ができる制度を提案している。認識はズレていない。

本来業務をおろそかにしないことを確認!

組合案実現に向け議論を深めていきます!!

次回交渉は、
11月22日
(予定)